

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	瀬戸内海印刷株式会社様 新社屋	階数	地上3F
建設地	広島県広島市佐伯区石内北五丁目	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域、下水処理区	平均居住人員	80 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2015年8月26日
敷地面積	7,604 m ²	作成者	廣田晃一
建築面積	2,856 m ²	確認日	2015年8月26日
延床面積	5,758 m ²	確認者	千振 正晶

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE 1.4

★: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記②以外の 74%
④上記+ 74%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.6

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.9	スコア= 3.0	スコア= 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項 外皮性能と高く設定し、熱負荷の抑制を図った。/一次消費エネルギーを削減し、省エネ化を図った。/一次消費エネルギーを削減し、省エネ化を図った。/個別制御が容易な空調方式、タクスアンビエント照明等の採用により運用面での効率化を図った。/解体が容易な内装等は乾式工法を採用し、再利用の可能性を高める計画とした。/PAL等を高性能で設定することで、ランニングにおけるCO ₂ の削減を図った。	設計の計画上特段に配慮した事項 危険物の一般取扱い所、印刷の衛生環境確保の必要性上、新規の植栽等は設置しない計画としたが、既存の緑地等は存続させる計画とした。/法令で規定される駐車台数以上を確保するとともに、荷捌き場等に停車可能なスペースを確保した。	設計の計画上特段に配慮した事項 一般的な建物性能を確保した。/OAフロアやLAN用の空配管の設置等、更新性に考慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される